



代表質問



世界遺産本登録への取り組みは
さらなる市民理解を得る努力を

公明党議員団 大野 哲也議員

問 世界遺産本登録への取り組みについて、市民にはまだその価値や必要性というものが十分理解されていないと感じているが、現状に対する認識を聞きたい。

答 地域懇談会の中で世界遺産本登録の価値や必要性、必要な保存管理計画などの手続やまちづくりへの活用等について説明してきたが、今後も、市民が三池炭鉱の価値や本登録の必要性を十分理解できるよう、さらなる広報活動に取り組む必要があると認識する。



三池炭鉱関連施設（宮原坑）

問 市長の3期目のスタートに当たり、2期目の総括と3期目の決意について聞きたい。

答 危機的な状況に直面している大牟田をよみがえらせたいとの思いで、これまで聖域なき行財政改革の断行による財政の健全化を図りつつ、三大プロジェクトの推進や企業誘致、教育環境の整備など、将来のまちづくりのための基盤づくりに邁進した結果、22年度決算では実質収支の黒字化を図ることができた。今後も財政構造の抜本的な改善と財政規律の確保のもと、さらなる財政健全化等を図りながら、本市のまちの再建を目標に、市民の幸福のために誠心誠意、全力を傾注していきたい。

問 市長・市議選において、候補者選別の参考となる選挙公報を発行してはどうか。

答 県内28市のうち24市が発行している現状であり、様々な課題をクリアしながら前向きに検討していきたい。

問 24年度からの高齢者保健福祉計画第5期介護保険事業計画の課題について聞きたい。

答 後期高齢者の増加などが要因で、要介護・要支援認定者が大幅に増加し、これに伴い、介護給付費も非常に伸びており、来年度からの介護保険料の大幅増が懸念される。このため、要介護状態にならないようにすること、また、要介護状態にあっても、その悪化をできる限り防ぐための介護予防に対する取り組みが、次期計画における重要なポイントであると認識している。



市民生活の利便性の向上と
市民活動補償制度の創設を

社民・民主・護憲クラブ 森田 義孝議員

問 市長3期目における今後のまちづくりへの投資と市民生活の維持・向上について、考えを聞きたい。

答 三大プロジェクトを効果的かつ積極的に活用した企業誘致や既存産業の支援により、雇用創出や定住・交流人口の増加を図るなどして、総合計画に掲げる三つの都市像の実現のため、たゆまぬ挑戦を続けていく。

問 長野県安曇野市では、新公共交通システム『デマンド交通あづみん』、近隣では、八女市で予約型乗り合いタクシー事業が展開されている。高齢化が進む本市においても、高齢になっても安心して暮らせるよう、生活に優しく、暮らしに便利な新しい公共交通システムの整備に向けて、他自治体事業の実態調査及び本市独自の事業展開における調査研究の実施や事業展開に向けた検討を強く要望したい。高齢者などの生活に優しいまちづくりや、市民生活の利便性向上の視点に立った、暮らしに便利な新しい公共交通システムの整備を行う考えがあるか聞きたい。

答 他都市では、ほとんどの自治体で利用率や採算性に課題が生じていることから、地域住民同士の助け合い、支え合いのまちづくりを推進するとともに、庁内の連携をとりながら全庁的に取り組むべき課題ととらえている。

問 帝京大学の医療系学科新設に伴うまちづくりへの効果及び土地の無償譲渡についての考えを聞きたい。

答 経済効果を初め、都市イメージ向上、まちのにぎわい、地域医療などに大きく貢献すると考える。様々な観点にかんがみ、無償譲渡は大学の要請に基づき行いたい。

問 中学校給食の実施に向けた基礎調査の内容を踏まえた、今後の基本計画等の策定について聞きたい。

答 基礎調査の結果等を慎重に吟味し、できるだけ早期に中学校給食実施方針案を策定していきたい。

問 市民活動の促進に向けて、自主的・自発的な公益活動に全市民が安心して取り組める市民活動補償制度の創設についての考えを聞きたい。

答 市民活動をより促進させるための制度内容として、現在、保険の種類や対象、補償内容等を検討している。